

NEXT

佐賀大学は、新たな扉へ

知性を活かして、地域に貢献する
だれもが学べる環境を創り、今、開かれた大学へ



2030年に向けて佐賀大学が目指すこと

志、挑戦、そして未来へ

ここから10年先。第4次産業革命やSociety5.0といった新しい時代がやってくる時、果たして社会はどうなっているのでしょうか？私たちは、そんな予測困難な時代が続く中で、社会や地域のために、みんなのために、佐賀大学がどういった役割を果たしていけるかを考えました。来るべき2030年を新たな希望の時代にするために、佐賀に住む皆さまと佐賀大学みんなで「志」を持って挑戦し、ともに未来へと発展し続ける大学を目指します。

佐賀大学が目指す2030年の姿

佐賀大学に
関わる人々が
誇れる大学

SAGAUNIVERSITY



佐賀大学で
学びたいと
選ばれる大学



地域社会から
期待、信頼される
大学



さあ、未来に向かって

佐賀大学のこれから -ビジョン2030-

2030

さらなる発展を
目指して



PHASE 5



加速期 2028-2029

PHASE4までの成果を取りまとめ、この10年間の活動を総括し、更なる発展を目指していきます。佐賀大学ならではの強み・個性を確立し、改革の総仕上げを行うとともに、次代に向けた準備も進め、改革を加速させる期間です。

PHASE 4



飛躍期 2026-2027

PHASE3までに実行した改革をさらに推進し「教育」と「研究」両面の成果を獲得し、地域社会に還元していきます。本学が地域の方々に必要なとされ、期待される大学となるべく、プロジェクトをより一層展開し、飛躍を遂げる期間です。

実行期 2024-2025

PHASE2で開始したプロジェクトを軌道に乗せ、学生や地域の皆さんとともに改革を進めていきます。地元市町村や他大学との連携を強化し、地域の方々の理解を得ながら、教育・研究・社会貢献等の活動の質を高め、改革を実行していく時期です。

PHASE 3

ACTION!



PHASE 1



準備期 2020-2021

今後10年間の改革の方向性を示す「佐賀大学のこれから-ビジョン2030-」を策定し、改革に向け動き始めました。これまでの課題を整理・分析し、いくつかの計画に先行して着手するなど、ビジョン実現に向けた準備を整える期間でした。

PHASE 2

始動期 2022-2023

PHASE1で整理・分析した課題を解決するため、改革に向けた具体的な計画を作成し、本格的に計画を開始していきます。教育・研究・社会貢献等の推進に取り組むプロジェクトを設置し、全学的に改革を始動する期間です。



佐賀の地にしっかりと根をはり、みんなで力をあわせ、みんなで「開かれた大学」を目指してきた佐賀大学。
これまでも、これからも、みんなで。地域と大学が一つとなって、希望あふれる次代へと進んでいきます。



地域の「～したい!」に 応える「知力」を開放

「人生100年時代」。学びたい人が生涯にわたって学べる場へと、佐賀大学は変わります。地域社会やそこで暮らす人々が抱える課題と向き合い、それを解決できる知の拠点を目指して。また、地域が誇る文化、歴史、自然を知的に探究し、次の世代へと伝えることも重要な使命です。

このように役立ちたい

- ▶ 地域に開かれた大学にしたい
- ▶ 地域創生に貢献する人材を送り出したい
- ▶ 地域の課題解決に役立ちたい
- ▶ 地域創生を支える大学でありたい

グローバルな視野を広げ 世界の人々と未来へ

佐賀大学では世界を見すえ、日本人学生の海外派遣や留学生の受入れをはじめとする国際交流をサポート。多くの学生が国を越え、世代を超え、宗教を越えてともに学び、地域社会と交流を図っています。これからも、積極的に世界の人や社会とかわかり、ともに未来へ向けて成長していきたいと考えています。

佐賀から世界へ

- ▶ 地域の国際化を牽引する知的拠点になりたい
- ▶ 世界で活躍できる人材を育てたい
- ▶ 佐賀大学から世界を拓く

2030年に向けた取組例



1. 次世代型研究

世界注目の海洋エネルギー開発など 未来と世界を見据えた研究を拡大

急激に変化する時代に対応するために、社会に
応える分野横断的な研究に取り組んでいます。
世界最高水準の出力を可能にし、カーボンニュ
ートラルの実現にも寄与する「ダイヤモンド半導体
デバイス」の開発をはじめ、海洋エネルギー研究
所では次世代のクリーンエネルギーとして地位確
立を目指すなど佐賀大学の立地や特性を活か
し、多分野・多方面で研究を進めています。



海洋エネルギー研究所(伊万里サテライト)



2. 地域活性

今の、そして未来の佐賀のために 佐賀大学の持ち味をいかに発揮

県内唯一の国立総合大学として、地方自治体や産業
界と連携しつつ地域課題の解決に取り組んでいます。
県内で様々な取組を開始しており、「地域防災減災
研究プロジェクト」では、近年頻発する甚大な災害に
対し、地域と連携して防災・減災に取り組んでいます。
また、鹿島市において「鹿島プログラム」を立ち上
げ、「町並み再生保存」「文化・伝統芸能保存継承」
などの6つの研究テーマで、伝統的町並みの保存・
活用などに地域と連携して取り組んでいます。



理工学部・三島伸雄教授と平瀬有人准教授の設計による
鹿島市の肥前浜駅舎



3. 生涯学習社会

いつでもだれでも学べる環境を整え 「学びたい」「やりたい」を応援

学生向けの正規科目の一部を、学生と共に一般
の方が学ぶ「授業開放」や、佐賀大学の「知」を地
域に還元する「公開講座」、潜在助産師の学び直
しや働きを支援する「佐賀県助産師リカレント教
育プログラム」など、誰もがいくつになっても、主
体的に興味を持って学び続けられる場を提供して
います。また、オンラインと対面のハイブリッド授
業を充実させるなど、より良い学びのカタチを追
求しています。



ハイブリッドで開催した公開講座「都市の防災・減災」



4. 先端医療

地域医療を先端技術と地道な研究で支え 健やかなる人生100年時代を目指す

県内唯一の医師養成機関である佐賀大学の役割
は重要であり、地域医療の発展に大きな期待が
寄せられています。人工股関節置換術や眼科手術
用染色剤の開発が国内外で注目を集める一方、
佐賀市民を対象としたコホート研究など地域に寄
り添った取組も実施しています。さらにIoTも積極
的に導入しており、眼底画像のAI診断プログラム
や術前中止薬管理Webアプリの開発など、未来
型医療を推進しています。



わずか15分ほどで県内全域に到着可能なドクターヘリ



SAGA UNIVERSITY
国立大学法人

佐賀大学

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地
(代) TEL 0952-28-8113 <http://www.saga-u.ac.jp>

佐賀大学 × SDGs

佐賀大学はSDGsの達成に向けて取り組んでいます。



佐賀大学の取り組み
はこちら

